

(統計史料でみる明治・大正期【その2】附録)
高等小学読本にみる統計

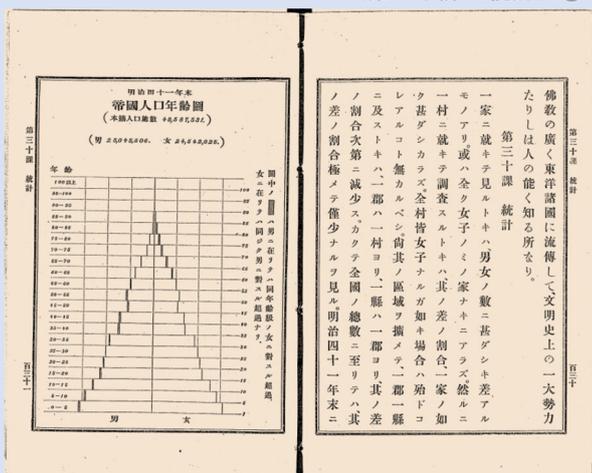
奥積 雅彦 (総務省統計研究研修所教官)

明治45年(1912年)4月の新学期から使用の高等小学読本(高等小学校の国定教科書)第3巻に初めて「統計」という一課が入ったことについては、統計図書館コラム【号外】統計史料でみる明治・大正期【その2】で紹介したところです。これに関連して**高等小学読本**の関係頁の画像を紹介します。

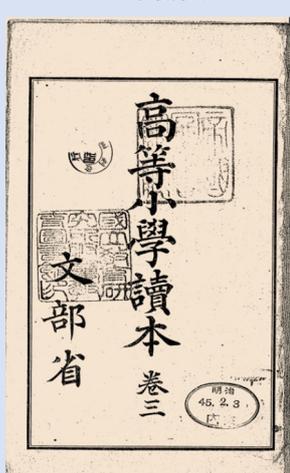
○高等小学読本 卷三(明治44年1911年12月翻刻発行、文部省)(抜粋)

←(第三十課 統計)①

(中表紙)

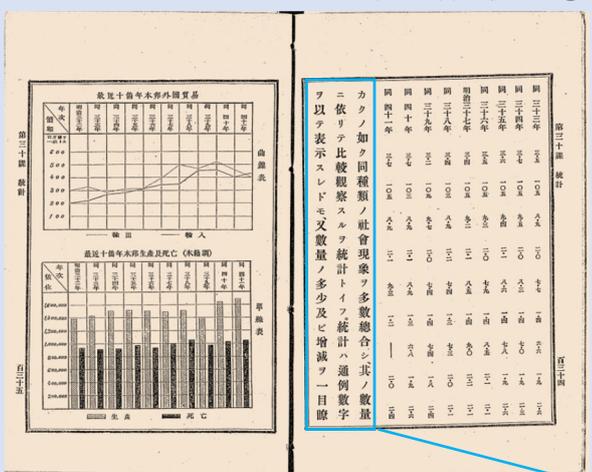


【一口メモ】
 まず、明治41年(1908年)末の「**帝国人口年齢図**」が登場します。現代風に言えば、人口ピラミッドのグラフ(男女ごとの年齢5歳階級別人口)です。そして、折れ線グラフ、棒グラフ、円グラフが続きます。統計グラフで社会各般の状態が一目瞭然になることなど統計の有用性を説明しています。



←(第三十課 統計)③

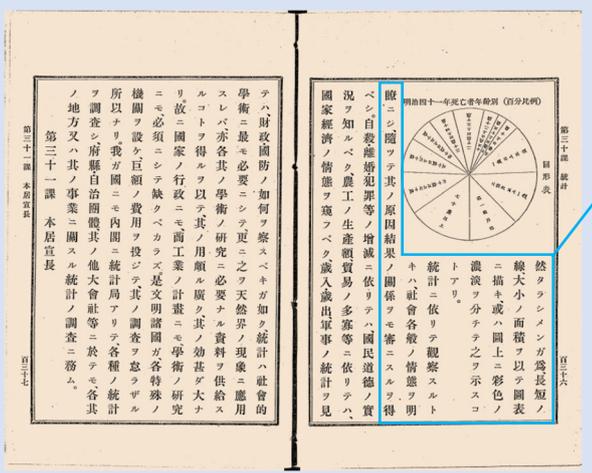
←(第三十課 統計)②



ノ形状及び男女ノ割合ノ一定セルヲ発見スベシ。獨り男女ノ割合出生死亡率ミナラズ婚姻離婚犯罪自殺等ニ至ルマデ大數ニ就キテ調査スルトキハ其ノ割合殆ど一定セリ郵便物ノ不能配達ノ割合スラ年々相似タリトイフ。コレハ社會ノ出来事ハ一見甚ダ不規則ナルガ如シトイヘドモ其ノ全數ヲ總合シテ之ヲ觀察スルトキハ自ら整然タルモノアリ。コレハ最近十年間ノ調査ニ就キテ我ガ國ノ社會ニ關スル出来事ノ一斑ヲ示セン。

←(第三十課 統計)④

…同種類の社会現象を多数総合し、其の数量に依りて比較觀察するを統計という。統計は通例數字を以て表示すれども、又數量の多少及び増減を一目瞭然たらしめんが為、長短の線、大小の面積を以て図表に描き、或は図上に彩色の濃淡を分けて之を示すことあり。統計に依りて觀察するときは社会各般の情態を明瞭にし、随したがって其の原因結果の關係をも審つまづかにするを得…



【一口メモ】
 統計学雑誌第309号(明治45年1912年1月)所収の横山雅男「高等小学読本と統計」において、「本年4月から使用せらるべき高等小学読本第三巻中に統計の一課を加へられたるは実に**近来の一大快事**」とした上で、同読本のうち「統計」に係る全文を転載しています。横山雅男の喜びが伝わってきます。